

2024年 月 日

弘前市いきいき健診（健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究）へ
ご参加いただいた皆様へのお願い

日頃より弘前大学の研究活動へご協力いただき、大変ありがとうございます。

このお願いは これまでの弘前市いきいき健診（健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究）へご参加いただいた皆様へご案内しています。

【研究目的】

弘前市いきいき健診は、弘前市と弘前大学が共同で青森県弘前市に在住する概ね 65 歳以上の住民を対象に、健康寿命の延伸を目的に全身の健康調査をおこなうものであります。いつまでも元気でいきいきと暮らすには、“あたらないこと”(脳卒中にならない: 動脈硬化を防ぐ)、“動けること”(ロコモティブシンドロームにならない)、“もの忘れがひどくならないこと”(認知症にならない)が大切であり、健康状態の現状とその問題点を医学的観点から調査することで、住民の健康の維持・増進および生活の質 (quality of life; QOL)の向上に資し、疾病の予防及び健康の保持・増進を包括的に研究することを目的としています。

【研究方法】

弘前大学ではこれまでの取組において標準化された調査項目のスクリーニング調査及び頭部 MRI 検査をベースラインで行い、毎年 の追跡調査によりエンドポイント(認知症、うつ病、心血管病、死亡)の情報を前向きに検討しております。さらに血清などの生体試料を長期凍結保存し、栄養や運動データ、臨床情報などを用いた従来型のコホート研究にオミックスに関する知見を融合させる研究を進めております。

大規模認知症コホート研究により、各種生活習慣データに加え、健康及び疾患コホートデータの融合が可能となり、認知症を含む生活習慣病の新たな危険因子・防御因子が同定され、その発症リスクの予測モデル、診断マーカー、予防法および治療法の開発が進み、個々の発症リスクに応じた予防・治療法(個別化予防・医療)の確立につながると考えて取り組んでおります。

【研究実施期間】 実施許可日 ~ 2030年 3月 31日

【対象となる方】 2016年~2024年の弘前市いきいき健診に参加された方

【研究費および利益相反】

本研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」(課題番号 16dk0207025h0001)、「大規模前向きコホー

トデータを基盤とした認知症のゲノム・脳画像研究」(課題番号 21dk0207053)による財政的な支援を受けて運営されます。本研究に関わる研究者は、特別な利益相反状態はなく、参加者にも利益相反による不利益が生じることはありません。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

この研究への利用にご同意いただけない場合は、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。承認しないことにより何ら不利益をうけることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

【お問合せ先および情報利用提供停止願い送付先】

弘前大学大学院医学研究科附属健康未来イノベーションセンター
先制医療学講座 センター長/教授 三上 達也
住所：〒036 - 8562 弘前市在府町 5
電話：0172-39-5037